

メトリクスによる
「見える化」のススメ:
No 見える化、No 改善

2017/04/13

伊藤 宏幸

質問

身の周りで
こんなこと
ありませんか？

マネージャとして

開発者の進捗報告だと、
結局何がどこまで
できているのか
分からない。

開発者として

これだけクールな
コードを書いているのに、
マネージャがキチンと
評価してくれない。

状況が見えないことを
他人のせいにして
いませんか？

状況把握は、
チーム全員の
責務です。

本日のお題

メトリクス
の工夫や活用で、
状況を「見える化」
してみよう。

Who am I ?



伊藤 宏幸 (The Hiro)

[@hageyahoo](#)

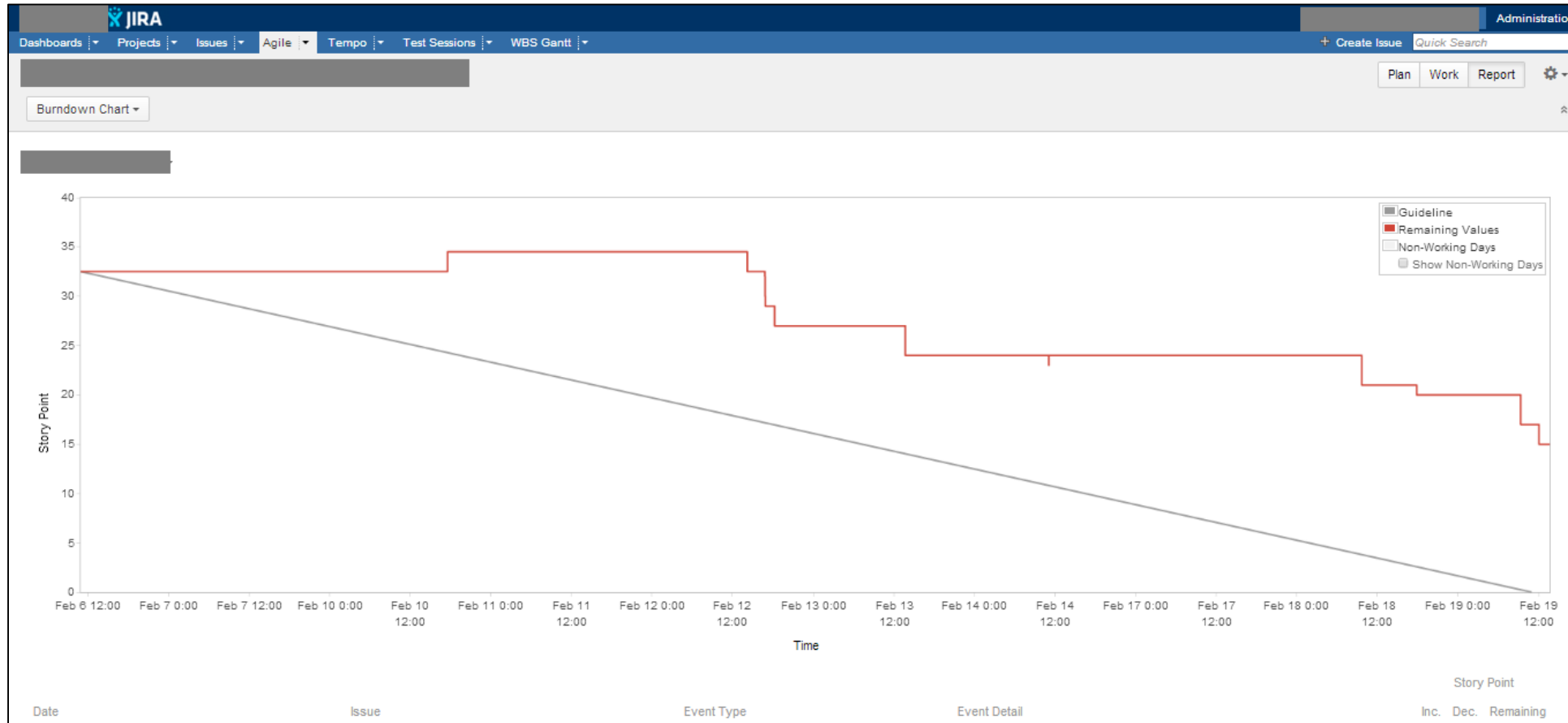
ヤフー株式会社

- **アジャイルコーチ**
- **黒帯 (アジャイル開発プロセス)**



我がチームでの
臨床実験報告
(2014年2月)

落ちないバーンダウン



原因？

- レビューの負荷が大きい？
- 特に難しい機能だった？
- 単にチケットをクローズし忘れている？
- ビットコインで大損こいて
業務どころではなかった？

これだけでは
分かん。

本日のお題（再掲）

メトリクス
の工夫や活用で、
状況を「見える化」
してみよう。

実際に計測してみた

- **レビューの負荷が大きい？**
- 特に難しい機能だった？
- 単にチケットをクローズし忘れている？
- ビットコインで大損こいて
業務どころではなかった？

計測初日



計測初日



計測3日目



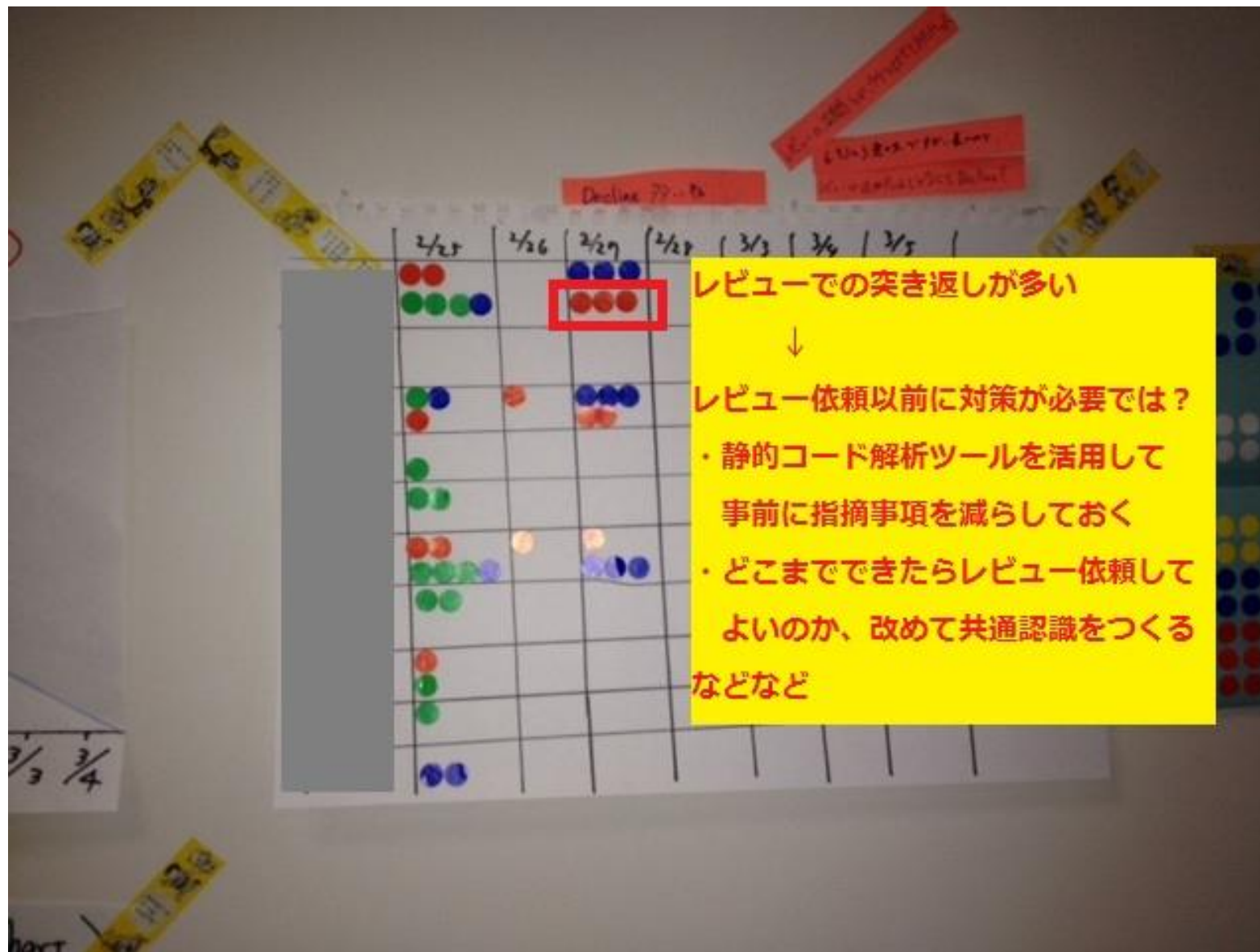
計測3日目



計測3日目



計測3日目



ちよつと計測してみる
手間を挟むだけで、
これだけのことが
分かるようになる。

これって
わくわく
しませんか？

ワークシヨツプを
始めましょう！

ワークショップの流れ

Sprint 0: チームづくり

(5分)

Sprint 1: 課題の共有

(15分)

Sprint 2: メトリクス案の検討

(15分)

Sprint 3: トレードショー

(10分)

Sprint 4: 改善(検査と適応)

(20分)

Sprint 5: はっぴょう！(時間があれば)

あなたは**マネージャ**ですか？
それとも**開発者**ですか？

- マネージャと開発者とが均等になるようにチームを作ってください。
- POは、基本「マネージャ」になってください。

次の**3点**を一人ずつ、
チーム内で共有してください。

- 自己紹介
- 自分がいま課題だと思っていることは何ですか？
- その課題は、どうすれば「見える化」することができるでしょうか？

がっつり考えましょう！

- 1st Sprintで出した課題のうちの**1つ**を、そのチームで考える課題として選択してください。
- その課題について、どのようなメトリクスを取れば良いのかを、チーム全員で考えてください。
- 案をA3用紙にまとめ、発表できる形にしてください。
- チーム名を決めてください(**重要!**)。

ポイント！

- そのメトリクスは、**マネージャ・開発者それぞれの視点から嬉しいもの**になっていますか？
- 嬉しくなければ、どうすれば嬉しいものにできますか？
- 発表できる形になっていますか？

見せてみよう！

- チームのうち1名は、自分たちの作成したメトリクス案を説明する要員として残ってください。
- 他のチームのメンバーは、他チームの説明を聞きに行ってください。
- 説明を聞いた人は、何をどうすればもっと良くなるか、フィードバックを付箋で渡してあげてください。

ちよつと一息

メトリクス例 (1) :from Agile2014

Cumulative Flow Diagram (CFD)

※複雑なので後述

スループット

ある一定期間で、どれだけのチケットが終了しているのか？

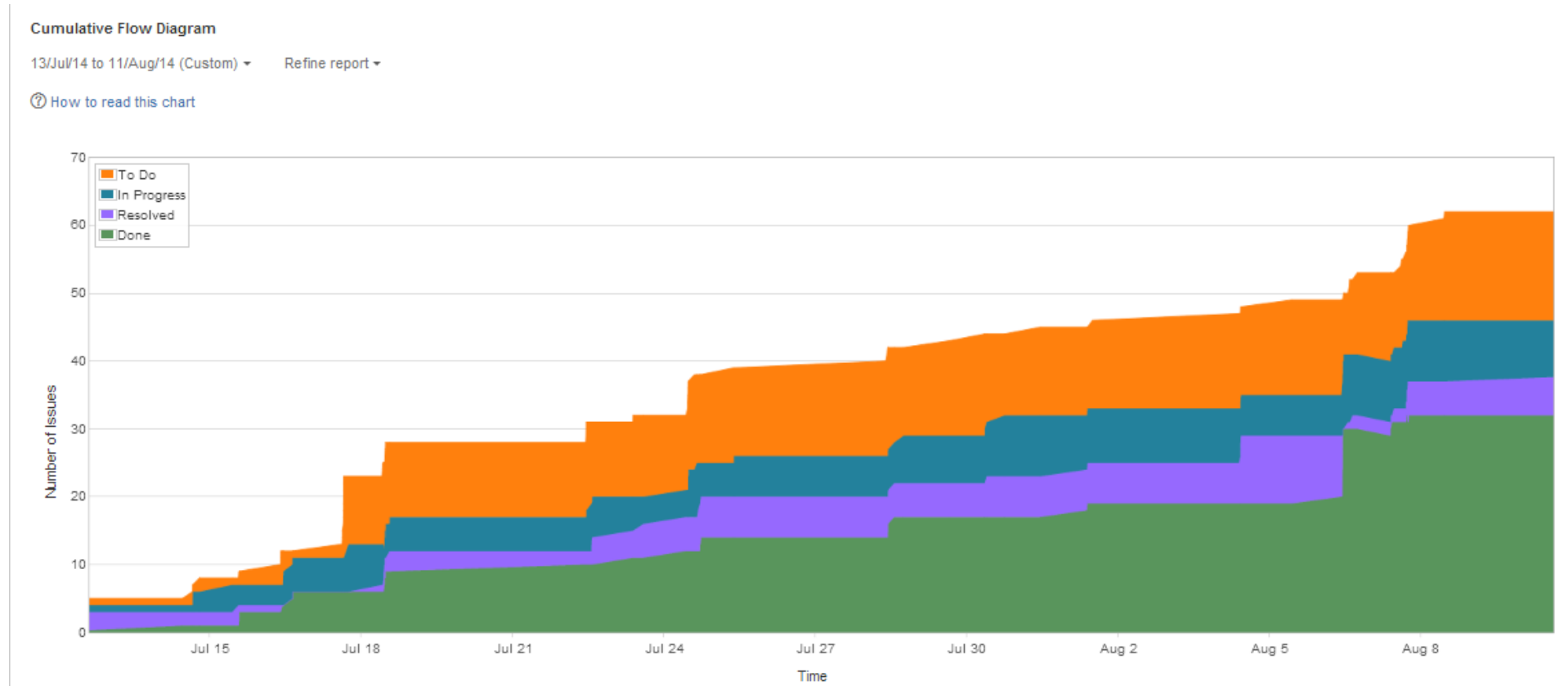
サイクル・タイム

チケットが次のフェーズに移動するのに、
どれだけ時間がかかっているのか？

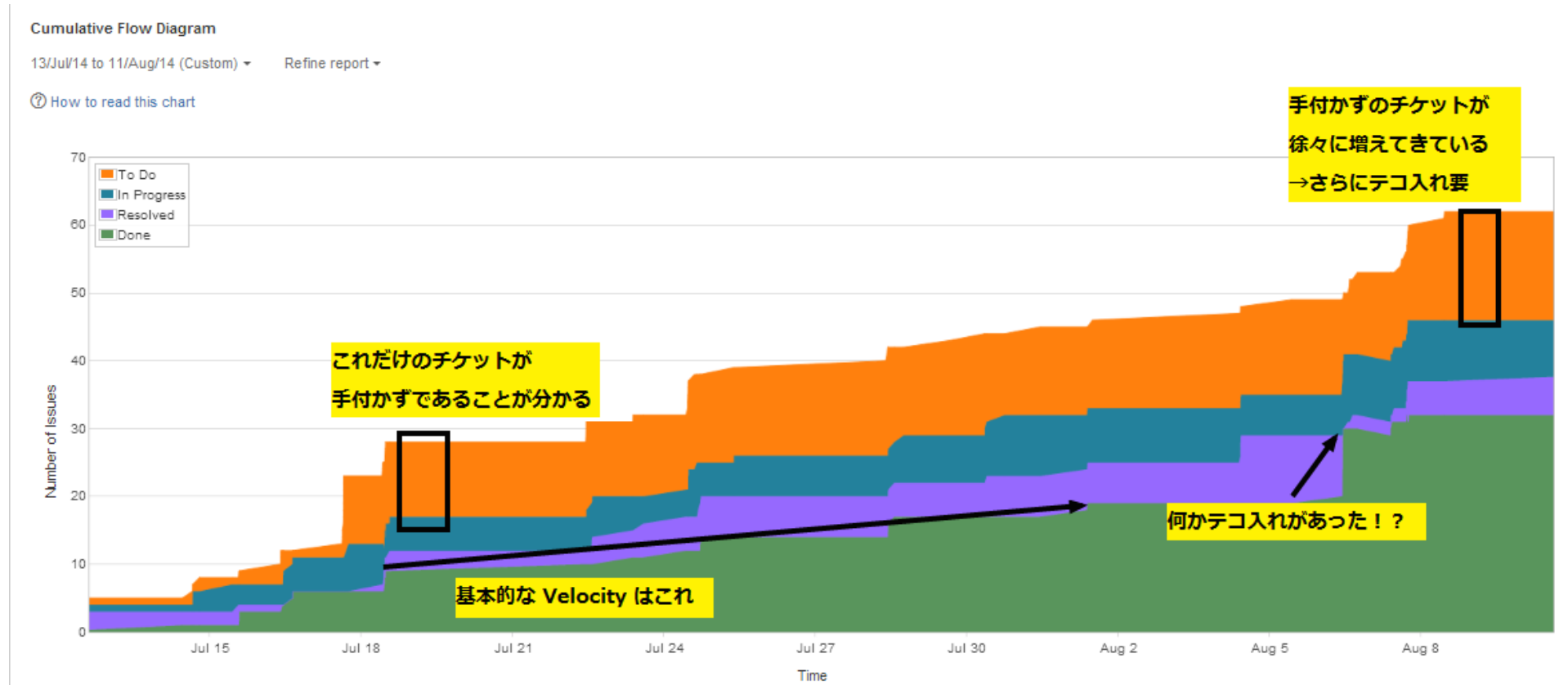
リード・タイム

チケットが開始してから終了するまで、
どれだけ時間がかかっているのか？

Cumulative Flow Diagram (CFD)



見方



マトリクスのポイント

考えることのプラスになる情報を見つけよう

- 現状の問題はどこにあるのか？
- 改善施策の成果はどうだったか？

数値の変化に意味を見い出そう

変化が見える情報であれば、役に立ちうるということ。

適切なものがなければ創ろう

創ってはいけないとは、誰も言っていない。

→創っても良いということ！

コミュニケーションの手段として使おう

話すのに使い易いものとなっているか？

仮説を
いかに
設定できるか？

Sprint 4: 改善(検査と適応) (20分)

- 以下の情報をもとに、メトリクスを**洗練**しましょう。
 - トレードショーで他チームのメンバーから得たフィードバック
 - トレードショーで他チームから「盗んで」来た情報
 - 追加説明を受けての「気付き」
- 併せて、**具体的な算出方法**についても突き詰めてみましょう。

Sprint 5: はっぴょう！ (15分)

- 時間があれば。

メトリクスのポイント（再掲）

考えることのプラスになる情報を見つけよう

- 現状の問題はどこにあるのか？
- 改善施策の成果はどうだったか？

数値の変化に意味を見い出そう

変化が見える情報であれば、役に立ちうるということ。

適切なものがなければ創ろう

創ってはいけないとは、誰も言っていない。

→創っても良いということ！

コミュニケーションの手段として使おう

話すのに使い易いものとなっているか？

メトリクス例 (2) :from 現場

機能追加・修正の頻度

割り込み率

残タスク数

タスクの完了率

バグの件数

デグレの頻度

テストの実行時間

テスト網羅率

**あなたのメトリクスを
あなたの手で！**